
田中最強伝説

儀豆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

田中最強伝説

【Nコード】

N6867A

【作者名】

儀豆

【あらすじ】

田中がまたもや下らないことで頭を抱える
：

（前書き）

コレ書いたのは11月だったので季節ずれてますが気にせずに読んでくださいな！（P A・、）

俺は高校2年生の田中まさとし。

ちなみに身長は165だ。

とうるるるる...

おっ。

電話だ!!めずらしいこともあるもんだ。

誰だ?

「もしもし?」

「おっつうゝ。俺おれ。今バイクと事故っちゃってさ...」

ぬ?!

こ...これは噂の...オレオレ詐欺なのか...?

「はい。誰でしょか。」

「俺だつてばゝ!わかんねーかなゝ。えつとまさとし。」

事故ったのは俺らしい。

「今ばかりだったらバイじゃん。で、相手も示談してくれるらしくて…俺も家帰れば金あるんだけど家まで取ってくるって言ったら逃げるつもりか！とか怒りはじめちゃってさあ…。」
「やばいじゃん！！」

「…で？俺はどうしたらいいんだ！？」

「金…今だけ貸してくんないかな…」

「いくら必要なんだ？！」

なんせ俺が今捕まったら大変なことになる。
学校にばれたら…あー！！考えたくないっ！！

「まだで？！！恩にきるよ。やつぱ持つべきものは友達だよな。ぢや、今から言う口座に5分以内に振込んでくれ！言うぞ！」

「ぐ…ごふん？！まあでも俺のピンチな訳だししょうがない！！紙とペン！な、ない！！ええい！手に書いてやる！！」

「…？」

「さあ、俺！！口座番号を早く！！手遅れになっちまうまえに！！」

「おまえ人馬鹿にすんなよ！？もおいいよ！！」

プッ…プープープー…

えっ???!!

切るなよ! 時間ねえんだから!!

かけ直し! つて! 非通知! やべえ!

今俺が俺を助けないで誰が俺を俺の代わりに助けるって言うんだ?!

……

かかってこない……

……

ええい!!!! 自首してしまえ!!

110番110番……

やべえ…… (自称) 地元で頭張ってたこの俺がマップに電話するぐら
いで手が震えてやがる……。

「もしもし、こちら　署です。どうかしましたか？」

「えーっと…、さっき俺が事故っちゃったみたいなんですけど…」
「あ、そうなの。住所わかる？現場そのままにしてそこで待っていてください。」

「住所ちよつとわからないんですけど…なにせ急だったもので。」
「焦らなくて大丈夫ですよー、落ち着いてくださいねー」
「はい、ありがとうございます」

「とりあえず被害者の方の状態は大丈夫なんですネ？」
「はい、先ほど示談について話した時に早くしろと怒ってたぐらいですから大丈夫なんでしょうねえ」

「きみねー。大丈夫なんでしょーねーって相手が怪我してないから良かったものの、
これでもし相手殺しちゃったかもしれないんだから他人事のように言うのは良くないんじゃないかねー。
とりあえず、今から行くから大体の場所教えてください。」
「だからわかんないってば！！」

「…。」

「じゃあ、目立つ看板は近くにありますか？」
「だーから、何回も言ってるようにわからないんですってば！！
だからこうして警察に自首して俺が逃げ出しておおことになるのを防ごうと思ったわけじゃないですか！！」

「…きみの友達が事故を起こしたのか？」
「いやいや！俺です！俺が言ってるだから間違いないですってば！」

「…で、場所はわからないと?」

「はい。」

なにせ俺が知らないうちに勝手に俺が事故したって電話かかってきてさっきはじめて知ったぐらいなんですから。」

「……」

「……」

「…あのねえ、こんなこと言いたくないんだけど
こっちも忙しいんだわ。」

だからあんたみたいなのにつき合ってる暇はないの。な。じゃ、もう切るからな。」

ガチャ、ツーツ、ツーツ、ツーツ…

なんなんだ?!

いつたい今日は何の日なんだ?

あ!

エイプリルフール?

いや、決して違うであろう。
だいいち今11月で肌寒いし。

てか今思っただけど、

もしや警察お得意の

「モクニン（黙認）」

ってやつ?!!

まだ俺って最高に最強じゃねえ??!!

マッポさえも俺にびびっちまうなんて

まじで俺も悪くなったもんだな。

この分じゃ明日学校でみんなにオレオレ自慢するしかねえみたいだ
な!!!

完

（後書き）

読んでくれてありがとうございます！！呆れた人もそうでない人も
なにかコメント残して行ってくれると有り難いです とりあえず田
中は馬鹿なんです…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6867a/>

田中最強伝説

2011年1月29日02時17分発行